

人権福祉体験学習を行いました

7月15日（水）の5・6校時に社会福祉協議会の方をお招きして、人権福祉体験学習を行いました。

1年生は2人1組で、1人がアイマスクを付け、もう1人が誘導しながら学校から小学校の脇を通り、ひまわり館まで歩きました。「普段歩いている道なのにとても怖かった」「音が迫ってくる感じがした」「相手を信頼することが大切だと思った」などの感想がありました。

2年生の車椅子体験では、外周線からせせらぎ館まで二人1組で車椅子に乗る人と介助する人に分かれて体験を行いました。せせらぎ館では車椅子に乗ったまま、自動販売機のボタンを押してみたり、エレベーターに乗ったりしました。生徒は「難しくないと思っていた車椅子が真っ直ぐ進まずに苦労した」「これから車椅子の方を見かけたら少し気にしようと思う」と実際に経験したことで気づくこともあったようです。

3年生は高齢者体験の装具を付け、校舎内を移動したり、校門前の坂を歩いたりしました。また今年は村内在住の高齢者の方にも参加していただき、実際の体験などのお話を聞くことが出来ました。「視界が狭くなるのが怖かった」「手足が自由に動かないことが辛かった」などの感想を持ったようです。

どの学年も今日の体験をきっかけに障がいのある方や高齢の方との関わり方を考える機会となりました。自分に出来ることは何かを考え、社会の一員として過ごして欲しいと思います。

